

### 平成十年度総会開かれる

五月二十七日、宮定さんにおいて、本年度の総会を開催しました。「小野川と佐原の町並みを考える会」も新スタッフのもとに各委員会が結成され、目的に向かって始動。役員さん方に抱負を語っていただきました。

#### 勇気と情熱でまちづくりを

代表世話人 加瀬 順一郎

今日、社会全体が将来に備え、考えている改革や地方分権は、より自立し活力ある地域社会を創るための手段であると思います。

その一つとして、ボランティア活動もパートナーシップにより、市民が主体的に参加する事が求められています。この点「考える会」は、町並み保存に向け、市民ボランティアにより、八年間活動を続けてきました。

佐原も「重要伝統的建造物群保存地区」の選定から、「小江戸佐原」として「偉人、伊能忠敬先生」と共に広く注目されています。

「考える会」は、新たに「まちづくり委員会」を加え、各委員会ごと目的に向かって活動します。

そのため、全員参加による意見交換、アイデアを出し合う定例会(第三水曜日・夜)の充実を図りたいと思います。

町並みを中心に地域の活性化を目指し行動することは



来賓挨拶・市長

抱負を述べる代表



「夢を持つ青春の心もよう」に似たものがあります。年齢を越え幅広い会員が、仕事を抱える中、栄える明るく楽しい安心した生活の実現へのまちづくりは、理想とロマンだと思えます。

#### 総務委員会

「考える会」の活動も早いもので、八年目を迎えました。

観光客に対してのお茶の接待とイベント、三菱館の装飾と絵画展、小野川の清掃、観光客の為に町並みマップ作成、視察研修など、わずかな予算の中で限界まで頑張りました。そんな努力の甲斐があり、重要な伝統建造物群保存地区に選定され、又、今年五月に、伊能忠敬記念館が開館し、観光と商業の活性化の両面的に魅力のある地域に変わりつつあります。

総務委員会では、皆さんの気付いたところをどんどん提案頂き、観光誘導サイン、マップの充実、忠敬橋の復元など行政と地域で基本的にどうあるべきか考えてみたいと思えます。ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

- 総務委員長 高橋 正夫  
副委員長 井上 源太郎  
" 宮永 孝子

#### 町づくり委員会

町づくり委員会は、住民として『どんな町にしていきたいか。』夢を持って語り合う中から、いろいろな問題を提起してこうと考えます。

委員会を毎月第一、第三水曜日に開催し、委員会の中で自由にディスカッションをしていきます。

まず、具体的な活動として、小野川清掃の取り組みを呼びかけて行くこと、三菱館の展示スペースの一角に「考える会」の活動状況を紹介します、会の内容を対外的に

も対内的にもお知らせします。

- 町づくり委員長 高橋 賢一  
副委員長 円城寺 達雄  
" 成家 淑子

#### 三菱館運営委員会

三菱館は「小野川と佐原の町並みを考える会」の活動拠点であり、町並み案内の充実を努めます。

内部のスペースを有効に利用し「町並みを考える会」の歩み、現在の活動状況のコーナー、町並みの歴史的發展を知らせるコーナー、町並み見どころ案内等を工夫していきたいと考えています。

また、来館者の休憩所として安らぐ場所であり、雰囲気作りにも心がけていきたいと思っています。そのためには、三菱館の活動(当番等)を誇りを持って積極的に参加するよう宜しくお願いします。

- 運営委員長 篠塚 友孝  
副委員長 佐藤 清  
" 永澤 幸子

#### 広報委員会

本年度から新メンバーも加わり、「佐原の町並み・かわら版」を積極的に発行をします。広報活動を通して、佐原の町並みの魅力を再認識し、その保存と町づくりに打ち込んでいく「小野川と佐原の町並みを考える会」を知って頂けるようPRします。

かわら版の内容も行事のみを追うのではなく、町づくりの活動の様子、各ブロックの活動の紹介、町角に見る小江戸風景のコーナー等を入れながら、親しまれ、読まれる「かわら版」にしていきたいと考えています。

- 広報委員長 越川 悦子  
副委員長 北田 明子  
" 香取 淳子

#### ごみはどこから



今年度から新設された『町づくり委員会』が中心となり、八月四日、小野川の清掃を行いました。

多数の会員及び建設業組合の皆さんのご協力により、朝八時からお昼過ぎまで汗だくになっての作業。舟からトラクに引き上げられた雑草や川底のゴミの山に「びっくり」誰が捨てたのでしょうか？観光客でないとする、私達市民の責任が大きいですね。一人一人の自覚で「きれいな小野川」を保ち続けましょう。

川から重機で引き上げられたゴミ

